

第6回 がん相談研究会 プログラム

テーマ：～単身患者を支える 知っておきたい事～

日時：平成29年3月18日（土）9時30分～16時 東京医科大学病院臨床講堂

総合司会：高山智子（国立がん研究センターがん対策情報センター）

9時30分～開会 大会長挨拶 品田雄市（東京医科大学病院）

基調講演

「単身患者さんを守る法的支援～司法書士ができること～」

ライフパートナー司法書士事務所

司法書士 伊藤太郎氏

10時40分～ポスター発表

ポスターセッション1群

ポスターセッション2群

12時00分～休憩

13時00分～シンポジウム「単身患者が困るいろいろなこと」

コーディネーター：品田雄市（東京医科大学病院）

橋本久美子（聖路加国際病院）

シンポジスト：

司法書士 伊藤太郎氏（ライフパートナー司法書士事務所）

退院調整看護師 志賀圭子氏（東京医科大学病院）

医療ソーシャルワーカー 杉浦貴子氏（聖マリアンナ医科大学病院）

介護支援専門員 渥美頼子氏（中野在宅ケアセンター）

14時30分～休憩

14時45分～パネルディスカッション

「がん患者の身終い（みじまい）について 触られていますか？」

コーディネーター：坂元敦子（杏林大学医学部付属病院）

田中結美（京都第一赤十字病院）

パネラー：金田美佐緒氏（岡山済生会総合病院）

仁科直美氏（信州大学医学部附属病院）

16時00分 閉会 理事長挨拶 近藤まゆみ（北里大学病院）

第7回大会長挨拶 福井里美（首都大学東京）

第6回 がん相談研究会 ポスター発表演題一覧

1群

| 番号 | 演題名 | 発表者 | 発表者所属 |
|-----|--|--------|----------------------------|
| 1-1 | がん患者に対する「社会的支援」の解明 —がん専門相談員と地域保健福祉職とのフォーカスグループインタビュー調査結果から— | 品田 雄市 | 東京医科大学病院 総合相談・支援センター |
| 1-2 | 看護師が行うがん相談支援の特徴 | 牛山 実保子 | 日本大学医学部付属板橋病院 |
| 1-3 | がん相談から始まる Advance Care Planning について～初回面談場面から ACP 推進のポイントを考える～ | 児玉 美由起 | 北里大学病院 集学的がん診療センター がん相談支援室 |
| 1-4 | 在宅医療における医療機関情報集約への取り組み | 関根 知嘉子 | 国立病院機構 大阪医療センター 医療相談室 |
| 1-5 | 症例検討会における専門用語解説という新たな取り組みについて | 鈴木 詩織 | 京都第一赤十字病院 医療社会事業部 |
| 1-6 | がん専門相談員のための患者申出療養制度に関する研修会の企画および開催結果について | 清水 奈緒美 | 神奈川県立がんセンター 患者支援センター |

2群

| 番号 | 演題名 | 発表者 | 発表者所属 |
|-----|---|--------|----------------------------|
| 2-1 | 病弱児に対する院内通級指導教室の意義と今後の課題～4年間の取り組みについて～ | 島村 敏文 | 徳島赤十字病院 医療・がん相談支援センター |
| 2-2 | 鳥取県における医療用ウィッグ・補整下着助成制度策定後の相談支援の変化 | 藤松 義人 | 鳥取県立中央病院 がん相談支援センター |
| 2-3 | 診断後 10 年以上の乳がん女性サバイバーがピアサポート活動に関わり続ける経験と意味づけの理解 | 福井 里美 | 首都大学東京 |
| 2-4 | 地域の医療機関と公共図書館等との連携における五感を使ったヘルスプロモーション・プログラムの開発 第1報 | 高山 智子 | 国立がん研究センターがん対策情報センター |
| 2-5 | 地域の医療機関と公共図書館等との連携における五感を使ったヘルスプロモーション・プログラムの開発 第2報 | 八巻 知香子 | 国立がん研究センターがん対策情報センター |
| 2-6 | 「援助者の自己覚知についての報告」～同時期に行った、単身患者支援を通じて～ | 長谷川 友美 | 国立病院機構 大阪医療センター がん相談支援センター |